

朝礼 校長講話（5月28日）

今、時間がとてもかかってしまうほど多くの表彰をしました。先週、この場で全校のみんなで陸上部壮行会をし、たくさんの応援をしました。その応援が陸上部の子たちの力になり、男子は準優勝、女子は優勝というすばらしい成績を収めてくれました。次は相撲。そして、それぞれの部につながってくればと思います。

そして今、「将来、学校の先生になりたい」という希望をかなえるために、今日からこの弥富中学校で実習を行う二人の教育実習生の方からあいさつをいただきました。

この二つのことから、こんな言葉を思い浮かべましたので、今日はその話をしたいと思います。「ローマは一日してならず」。

この「ローマ」というの、今のイタリアのローマを指すのではなく、古く「ローマ帝国」と呼ばれる大きな国があった時のことです。ヨーロッパのほぼ全部を占めるほど大きな力をもっていたローマ帝国。どれほどその影響力があったかを示す一つの例が、みなさんが小学校の時に勉強した「ローマ字」です。ローマ字とは、文字通り、ローマで使われていた文字で、それが遠くはなれた日本にまで伝わり、今も使われていることから、当時のローマ帝国が以下に大きかったかを想像することができますね。しかし、このローマ帝国は、最初からそんなふうに大きかったわけではありません。最初は小さな町から始まりました。しかし、それが少しずつ少しずつ力をつけ、最後には、さっき言ったようにヨーロッパの半分を占めるほどの大きな国へと変わっていったのです。まさに「一日にしてならず」です。

先ほど表彰をした陸上部の子たちもそうです。最初から足が速かったわけではありません。毎日、こつこつと練習を積み重ねたことで、記録が伸び、よい成績につながりました。中には部活動だけではなく、家に帰った後、自分で練習をした子もいるかもしれません。また、どこか、他のところへ習いに行っている子もいるかもしれません。そんな努力が、男子・準優勝、女子・優勝へとつながりました。

教育実習生の方も同じです。学校の先生になるためには、必ず教育実習を行わなくてはなりません。みなさんの周りにいる担任の先生も、部の顧問の先生も、教科担任の先生も、みんな教育実習を経験しました。そして、その経験をしたことで、「子どもっていいな」「教えるって楽しいな」という気持ちが芽生

え、学校の先生になる思いをさらに強くしました。だから、今、ここにいるんです。先生になる道も「一日にしてならず」です。その第一歩を踏み出そうとしている教育実習生のみなさんにも、あとから振り返った時に「ああ、弥富中学校で実習をしてよかった」と思ってもらえるような3週間を過ごしてほしいと思います。